

3月町議会一般質問を傍聴

3月2、3日町議会の一般質問が行われました。

今回は任期最後の議会でしたので、議長も含めて全員が質問しました。共産党の服部・薄井議員は3日に質問に立ちました。

服部議員の質問項目

- ①就学前児童の医療費窓口完全無料化を、②高校生通学費助成の実施を、③3歳未満児の保育料の軽減を、④病児保

育の将来の方針は。

薄井議員の質問項目

- ①社口原や町農業の振興をどのように進めようとしているのか、②会染西部地区ほ場非農用地の整備をどのように進めか、③自治会の未加入者・脱退者対策へ町の支援を。

町側の回答については両議員の「通信」を参照してください。

(中島 牛越邦夫)

エネルギー高騰による

原発再稼働容認は危険

原発事故から12年を経た今も被害回復と復興は途上にあるとのこと。当時の状況を思い起こせば原発のリスクはあまりにも大きく再稼働は否定的だったはず。ところが現在のエネルギー高騰で原発再稼働・新規開発推進が決定されました。

国民アンケート調査でも再稼働を肯定する回答が増えて

います。高コスト、事故リスク、核拡散と言われるものをなぜ？日本には次世代原子炉の安全基準はありません。この策定には何年かかると聞きます。

放射性廃棄物処分問題も未解決です。廃棄物処分は100年単位です。再検討を願うばかりです。

(3丁目 薄井百子)

食品値上げの大波 再び暮らし破壊

食品値上げの「大波」が再び押し寄せます。主要食品メ

ーカー195社の集計によると、2月の値上げは5463品目に上り、昨年10月の7864品目に次ぐ水準です。

4月には既に4892品目の値上げが決まっており、今年値上げしたか、値上げを予定する品目の累計は1万5813品目で、8月にも2万品目を超える可能性があります。

物価の優等生だった鶏卵も昨年の倍に値上がりしています。身近な生活必需品ほど値上がりが目立ちます。この狂乱状態はどうなるのか、どう暮らしをたてるのかが大問題です。



第一は消費税を5%引き下げる事ではないでしょうか。国民の苦しみをよそに大軍

健康保険証 来年秋廃止

国民不在の乱暴な方針は撤回を

現行の健康保険証を来年秋に廃止し、マイナンバーカードに一体化させると岸田政権が表明しました。

マイナンバーカードの取得は法律で任意とされているのに、国民皆保険のもとでほとんどの国民が持つ健康保険証をなくしてマイナンバーカードに統合するのは事実上の強制です。

カードの普及が進まないのは、国民が必要としていないし、不安が強いからです。生活に欠かせない保険証と引き



取得しないのには様々な理由が！

換えにマイナンバーカードの取得を迫るのは強権的です。マイナンバーカードを使える医療機関も現状では限られており、問題が山積みです。皆さんのご意見をお寄せください。

(3丁目 山本久子)

文芸欄 今月は俳句です

惜しげなく光の笑みを福寿草

紅梅や剪定うまき人の住む

春休みスマホゲームに会話なし

幸代

美ちこ

由美



町議選まで1ヶ月!

岸田内閣の悪政を地方から正す

今回の町議選は戦争か平和かが問われています。岸田政権のすすめる大軍拡や大増税、デジタル改革の名の下での行政サービス

の産業化やマイナンバーカード、インボイス制度など、地方自治を弱体化させ住民の命や暮らしを脅かす悪政を地方から正す重要な選挙です。

過去2回は無投票でしたが、今回は現時点で定数プラス2の13名の立候補が予想され、選挙が確実な状況となっています。立候補予定の現職の中にも選挙未経験者がいたり、新人も5名、女性も4名など情勢のつかみにくい選挙となっています。

町政も財政の健全化や将来ビジョンなど大きな課題を抱えています。

服部、薄井両候補は単なる町政批判ではなく、皆さんの声を聴いて提案型の活動を重視してきました。

全戸へ「アンケート調査へのお

部内資料

発行者	太田 勅 (62-5727)
責任者	薄井 孝彦 (62-5093)
連絡先	服部 久子 (62-4357)
編集者	山本 久子 (61-1066)

257号

2023年3月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ

「お願い」を配布し、返送されてきた回答や意見をまとめ、分析して町に要望書を提出しました。内容のいくつかは3月議会一般質問で取り上げ、前向きな回答もありました。両議員は毎月「議員通信」を

ファンクラブ総会を開催

ファンクラブ定期総会を2月26日に多目的研修センターで開催し、大勢の皆さんに参加していただきました。

総会に先立って4月の町議選での服部・薄井両予定候補の勝利を目指し「決起集会」を行いました。

最初に予定候補から決意表明があり、応援のため駆けつけて



武田良介さんが激励挨拶

発行し、議会活動をお知らせしていきます。また「子どもの医療費無料化の18歳までの引き上げ」など様々な町民要求を実現し、「地下水条例の制定」など町の課題解決を求め、実現してきました。日本共産党の2議席は「平和と暮らしを守り、要求実現・町政を前に進める確かな力」です。皆様のお力で2議席を守っていただくようお願いいたします。

いただいた武田良介前参議院議員から激励挨拶がありました。

武田さんは「今度の選挙は、戦争か平和かの岐路に立つ重要な選挙です。反共攻撃を許さず共産党を大きくすることが、大軍拡を許さない道です」と挨拶されました。

総会では参加者がそれぞれ積極的に発言し活動の総括・活動方針を決定しました。

「毎月欠かさずファンクラブニュースを1700部発行しており、町民の期待は大きい」「戦争法に反対する池田町民の会などと共同して、平和のスタンディングに取り組んでいる。引きつづき続けて欲しい」などの意見が出されました。

コラム 有明

3月は弥生、草木が芽吹く事だと言。新年度を迎える期待と不安も混

じる時だ。春休みは子ども達にとつてホッとする時だが、親には気がかりな事が多い。昼食も悩みだ。学校給食の有難さを実感する。数年前から「学校給食を無料化」の声は全国的に叫ばれていたが、国は動かず自治体まかせになっていた。義務教育には食育も含まれて当然だと思う。国・県は子育て支援の重要課題と捉え無料化に取り組んでほしい。4月から池田町・松川村は自治体の補助が7/8割となり自己負担が減ることは嬉しいが、義務教育の趣旨から考えれば国が無料にするべきではないかと思う。県に対し町議会が給食費無料化の陳情を採択したことは心強い。早く実現してほしい。諸団体からの署名の働きかけも大きかった。